

1. 情報活用能力を育成する単元づくり

本単元は、身のまわりの生活から課題をみつけ、事実と意見とを結びつけて提案文を書くことをねらいとしている。まずは提案内容に必然性をもたせるために、日常生活から学級の課題や改善点を見つけ出す。それらの情報をインタビューやアンケート、自分の経験など複数の方法で情報を収集していく。話し合い活動を通して、情報を整理分析し、提案内容を具体的にしたり、根拠となる事実や意見を厳選したりする。事実と意見、提案内容が読み手に取って具体的になっているかを意識して文章を書き、誤字脱字だけでなく内容に関しても推敲をしていく。このように情報を自分の意見や提案に沿って取捨選択したり、話し合いを通して内容を深めたりすることが大切であり、一連の情報活用能力が育成できる。なお、最終的にはクラスでの生活をより良くするために、今回の授業で児童たちが出した提案をクラスで実践していく。

2. 国語科における情報活用能力ベーシックと本時のベーシック要素

【整理・分析】	情報を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。	分析
---------	--------------------------------	----

本授業では、同じ課題解決に取り組むグループでの話し合いを通して、自分が書く提案内容を決定することを目標としている。グループごとに違う課題意識をもっているため、座標軸の横軸はグループごとに選択させ、より効果的な話し合いが進められるようにしている。より良い提案をするために、様々な提案内容に触れ、読み手が必然性を感じやすい解決策を用意することが重要である。グループで出し合った複数の提案を軸の観点に沿って分類したり、提案の内容を関係付けたりすることで、より具体的で必要感のある提案が明確になると考えられる。

3. 本時の目標

収集してきた情報を整理して、提案文で伝えたい内容を明確にする。

4. 本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 前時までの確認をする。 2 学習問題を確認する。 話し合いを通して、提案内容を整理したり関係付けたりして、提案内容を決めよう。	○課題解決に向けて、前時までに個人で提案を複数考えたことを確認する。
20分	3 座標軸を使い、個人で考えた提案を分類する。 (グループ)	○同じ課題意識をもつメンバーでグループを編成する。 ○グループごとの共有ノートを使う。 ○横軸は選択肢の中からグループで選ばせる。児童が新しく作った選択肢でもよい。 〈選択肢の案〉 ・簡単ー難しい ・すぐにできるー一時間かかる ・続けやすいー続けにくい ・一人でできるーみんなのできる ・楽しいー楽しくない ・やりがいあるーやりがいがない など

15 分	4 座標軸で分類した結果をもとに、提案文で伝えたい内容を決める（個人） <table><tr><td>事実</td><td>思ったこと・感じたこと</td></tr><tr><td>提案</td><td>願い</td></tr></table>	事実	思ったこと・感じたこと	提案	願い	○類似点や相違点に注目しながら、提案を座標軸に沿って分類する。 ○グループ内の提案同士を関連付けて新しい提案を作ってもいいことを伝える。 ○個人の活動の説明をする際には、代表のグループの内容を例にあげながら説明をする。 ○個人のタブレットのノートやワークシートを使う。（自分で選択する） ○グループで話し合ったことをもとに、提案内容を決定する。グループ内で提案内容が重なってもよいことを伝える。 ○事実と意見が結びついているか、提案に具体性があるかを意識させる。
事実	思ったこと・感じたこと					
提案	願い					
まとめ 5 分	6 次回にむけて	○本時の内容の振り返りをする。 ○次回の授業の活動内容を伝え、見通しを持たせる。				

こんな感じの流れ？

課題の設定	身のまわりから課題や改善できそうなことを見つける。提案文について。
情報の収集	課題についての情報を収集する（体験談・アンケート・インタビューなど）
整理・分析	本時
まとめ・表現	自分の考えが伝わるように書き方を工夫して提案文を書く
振り返り改善	個人・グループで推敲→書き直し→発表